

**製品名: Pcdcd-4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15879**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	51kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PDCD4
別名	PDCD4; H731; Programmed cell death protein 4; Neoplastic transformation inhibitor protein; Nuclear antigen H731-like; Protein 197/15a
遺伝子 ID	27250.0
SwissProt ID	Q53EL6
免疫原	抗血清はヒト PDCD4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 420-469

**背景**

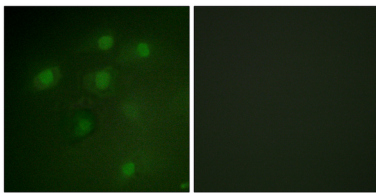
この遺伝子は腫瘍抑制因子であり、真核生物翻訳開始因子 4A1 に結合し、RNA 結合を阻害することでその機能を阻害するタンパク質

をコードしています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2010年12月];注意: ここに示す配列は、Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備データとして考慮する必要があります。、疾患: 発現の喪失は、肺癌および結腸癌の腫瘍進行と関連しています。、ドメイン: MA3 ドメインを介して EIF4A1 に結合します。、機能: 腫瘍抑制因子。腫瘍プロモーター誘導性の腫瘍性形質転換を阻害します。MAP4K1 の発現をダウンレギュレーションすることで、浸潤を促進する上で重要なイベント、すなわち MAPK85 の活性化とそれに伴う JUN 依存性転写を阻害します。アポトーシスにおいて役割を果たす可能性があります。EIF4A のヘリカーゼ活性とキャップ依存性翻訳を阻害します。RNA に結合します。誘導: IL2 刺激は発現を抑制し、IL12 刺激は発現を増加させます。、配列注意: コンタミネーション配列。ポリ A 配列の可能性もあります。、類似性: PDCD4 ファミリーに属します。、類似性: 2つの MI ドメインを含みます。、細胞内局在: 核と細胞質の間を往復します。通常の増殖条件下では主に核内に局在します。血清非存在下では核から輸送されます。、サブユニット: EIF4A1 および EIF4A2 と相互作用します。、組織特異性: 増殖細胞で発現が上昇します。乳腺上皮細胞で高発現します。、

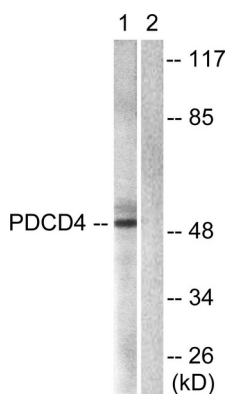
## 研究分野

細胞生物学、細胞周期、細胞周期阻害剤、アポトーシス、核、エピジェネティクスと核シグナル伝達、転写、その他の因子、がん、浸潤/微小環境、細胞死

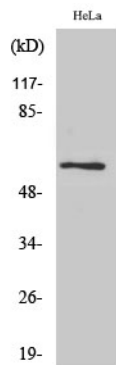
## 画像データ



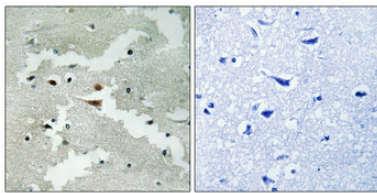
PDCD4 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



PDCD4 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



### Pdc4-4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。